

平成 29 年度 大阪緑涼高等学校 学校評価（報告）

<学校評価>

1. 目指す学校像

2. 中期目標

○学習指導

○生活指導

○進路指導

○教員研修

○その他の領域

【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

<学校関係者評価>

◆近隣地区代表との意見交換

◆学校関係者評価を受けて

<アンケート報告>

◆生徒・保護者アンケート

平成 29 年度 大阪緑涼高等学校 学校評価

1. 目指す学校像

- (1) 教員・生徒が、誇りと自信を持てる学校
 - 文武両道に努め、教員・生徒共に満足度が高められる学校を目指す。
- (2) 女子校としての存在意義が明確な学校
 - コース制の充実を図り、生徒たちへの豊かな進路先を実現する学校を目指す。
 - 生徒の品格(所作、礼儀、マナーなど)を高め、保護者と共に、子供の成長を喜べる学校を目指す。
- (3) 近隣市民、中学校から、支持してもらえる学校
 - 施設、設備や学校環境の整備を計画的に実施し、学習環境の充実を目指す。
 - 近隣住民との連携を図り、生徒・保護者、教員がともに協力できる学校を目指す。

2. 中期目標

○学習指導

- (1) 基礎学力の定着
 - ・日々の授業を大切にし、基礎学力の定着を図る。
- (2) 家庭学習習慣の定着
 - ・家庭学習の課題として模試を活用し、習熟度をチェックする。

○生活指導

- (1) 思いやりと礼節、礼儀正しい生徒の育成
 - ・校門指導を行うとともに、「あいさつ運動」を推進することで、自発的に挨拶ができる生徒を育てる。
 - ・茶道を通して礼儀正しい生徒を育てる。
 - ・遅刻防止に向けた取り組みを行うことで、社会規範を守る生徒を育てる。
- (2) 頭髪指導を通し、規律を守る心の育成
- (3) 物を大切に扱うことを心の教育の一環として行う(校内外の清掃活動など)。
- (4) いじめアンケート等を活用し、いじめをさせない・解決できる学校を目指す。
- (5) 指導する基準や高校生活の指針が明快なポイント制の推進を行う。

○進路指導

- (1) 進路先の確保
 - ・系列大学の受験者数を確保するとともに、その他の四年制大学・短期大学等への進路も広げる。
- (2) 進路学習
 - ・三者懇談会を利用して、生徒・保護者の進路に対する目標を把握し、進路実現に繋げる。
 - ・様々な資格を取得させ、受験での利用や社会で活躍できる素養を身につけさせる。
 - ・課外講座を利用し、学力の向上を図るとともに、大学受験の対策を行う。

○教員研修

- (1) 教員の力量を向上させるため研修会を実施
 - ・校内外の研修会に積極的に参加し、教員のスキルアップに繋げる。
 - ・3校合同(大商大高校、大商大堺高校)研修会を実施し、指導方法の見聞を広げる。
 - ・学内教員研修会を実施し、学内の制度や規則の改善に繋げる。
- (2) 授業スキルの向上
 - ・公開授業を行い、意見交換会等を利用して自己研鑽に努める。

○その他の領域

- (1) 学校評価の取り組み
 - ・学校評価アンケートや授業アンケートを実施することにより、生徒の生の声を聞き、組織としての取り組みを図る。
- (2) 地域との交流
 - ・地域ボランティア活動を行うことで、近隣とのコミュニケーションを図る。
- (3) 設備環境・防災対策の強化
 - ・施設や設備環境を点検し、適宜改善・改修に努める。
 - ・計画的に緊急支援物資を購入することで、緊急時の避難所として稼働できるように努める。

[自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見]

[自己評価アンケートの結果と分析(平成30年2月実施分)]	学校評価委員会からの意見																				
<p>□学習指導 ○クラスは楽しい 肯定的意見 (H29 生徒 86%、保護者 83%) (H28 生徒 88%、保護者 85%) (H27 生徒 85%、保護者 83%) 昨年より肯定的意見が少し減少している点において調査し、原因を究明する必要がある。</p> <p>○授業に対する意欲 肯定的意見 (H29 生徒 80%、保護者 80%) (H28 生徒 75%、保護者 76%) (H27 生徒 73%、保護者 75%) 授業に対する意欲は、生徒・保護者ともに例年より肯定的意見が増加している。</p> <p>○学校行事は充実している 肯定的意見 (H29 生徒 82%、保護者 86%) (H28 生徒 85%、保護者 86%) (H27 生徒 80%、保護者 87%) 学校行事に関しては、生徒・保護者ともに高い評価をいただいている。概ね満足していることを示している。</p> <p>○部活動は活発である 肯定的意見 (H29 生徒 76%、保護者 76%) (H28 生徒 75%、保護者 69%) (H27 生徒 70%、保護者 70%) 生徒の数値は昨年度より1%上昇している。保護者は肯定的意見が増加している。</p> <p>《参考：クラブ加入率》</p> <table border="1" data-bbox="168 1454 1512 1617"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>総計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動部</td> <td>45%(43%・20%)</td> <td>18%(18%・18%)</td> <td>20%(13%・9%)</td> <td>25%(22%・16%)</td> </tr> <tr> <td>文化部</td> <td>37%(23%・38%)</td> <td>27%(24%・23%)</td> <td>28%(31%・26%)</td> <td>30%(26%・29%)</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>81%(66%・58%)</td> <td>44%(42%・41%)</td> <td>49%(44%・35%)</td> <td>55%(49%・45%)</td> </tr> </tbody> </table> <p>()内は (H28年度・H27年度)</p>		1年	2年	3年	総計	運動部	45%(43%・20%)	18%(18%・18%)	20%(13%・9%)	25%(22%・16%)	文化部	37%(23%・38%)	27%(24%・23%)	28%(31%・26%)	30%(26%・29%)	総計	81%(66%・58%)	44%(42%・41%)	49%(44%・35%)	55%(49%・45%)	<p><クラスは楽しい：自分のクラスに対する満足度について> クラス運営に関しては概ね満足している。少しずつでも満足度を100%に近づけるよう努力すべきである。また否定的な意見に対しては、真摯に受け止め、原因を解明し早急に改善する必要がある。</p> <p><授業に対する意欲・態度について> 1年生の学習意欲が高く、2年生になると低下する。目標をしっかりと意識づけし、予習・復習や授業の大切さを再認識させることが必要である。</p> <p><学校行事に対する満足度> 課外学習などの学校行事は、生徒・保護者とも満足できる内容であると考えられる。しかし、3年生の満足度が他学年と比べ低く、原因を突き止め、改善すべく方策を考える必要がある。</p> <p><部活動に対する満足度> 部活動に関する満足度は、学校行事等に比べ、やや低い傾向にあると言える。しかし、年々肯定的意見が増えてきている。教育方針に基づき運動部の活性化が図られていることは、徐々にではあるが成果が見られる。今後は男子クラブの充実も図っていく必要がある。</p>
	1年	2年	3年	総計																	
運動部	45%(43%・20%)	18%(18%・18%)	20%(13%・9%)	25%(22%・16%)																	
文化部	37%(23%・38%)	27%(24%・23%)	28%(31%・26%)	30%(26%・29%)																	
総計	81%(66%・58%)	44%(42%・41%)	49%(44%・35%)	55%(49%・45%)																	
<p>□生活指導 ○学校の雰囲気が良い 肯定的意見 (H29 生徒 86%、保護者 97%) (H28 生徒 88%、保護者 94%) (H27 生徒 84%、保護者 93%) ○入学してよかった 肯定的意見 (H29 生徒 81%、保護者 93%) (H28 生徒 84%、保護者 92%) (H27 生徒 84%、保護者 95%) 学校の雰囲気に関しては、概ね高い評価をいただいている。生徒については肯定的意見が減少している要因を解明する必要がある。</p> <p>○学校の規則は妥当か 肯定的意見 (H29 生徒 74%、保護者 88%) (H28 生徒 68%、保護者 89%) (H27 生徒 63%、保護者 84%) ○学校の規則は守っているか 肯定的意見 (H29 生徒 92%、保護者 95%) (H28 生徒 91%、保護者 93%) (H27 生徒 89%、保護者 90%) ○生活指導についての納得度 肯定的意見 (H29 生徒 72%、保護者 86%) (H28 生徒 65%、保護者 84%) (H27 生徒 61%、保護者 80%) 学校の規則について納得し、妥当であり守っていることは伺える。今後は、納得のいく生活指導ができるように学則規定の変更も考慮する必要がある。</p>	<p><学校の雰囲気が良い・入学してよかった> 生徒の80%以上、保護者の90%以上が肯定的な意見であり、学校全般としては生徒からも保護者からも一定の評価をいただいていると思われる。ここ数年、保護者のポイントが少しずつではあるが増加していることは喜ばしいことである。</p> <p><学校規則の妥当性と遵守・生活指導の納得度> 保護者の評価としては80%以上が肯定的な意見であり、概ね生活指導に関しては理解を得られているものと思われる。生徒からの肯定的な意見が低いのは、生徒の不平等感があることも推測される。生徒への説明をさらに丁寧にし、指導方法や学則規定に関しても改善していかなければならない。</p>																				

<p>○親身になって話を聞いてくれる 肯定的意見 (H29 生徒 80%、保護者 83%) (H28 生徒 79%、保護者 83%) (H27 生徒 70%、保護者 79%)</p> <p>○挨拶があふれる学校 肯定的意見 (H29 生徒 84%、保護者 84%) (H28 生徒 85%、保護者 82%) (H27 生徒 81%、保護者 80%) 長年挨拶運動に取り組んできた成果が現れていると考えられる。教員と生徒間で挨拶を通してコミュニケーションの糸口を作り、さらに各項目での達成度を上げていきたい。</p>	<p><親身になって聞いてくれる> 教員の生徒への対応が丁寧で、肯定的な意見が上がっているものと思われる。今後は100%を目指し教員の資質向上をはかる。</p> <p><挨拶があふれる学校> 80%以上が肯定的な意見である。多くの生徒が挨拶をしていると言える。今後も挨拶があふれる学校であるように、教員側から積極的に働きかけていく必要がある。また、保護者からも挨拶があふれる学校だと思っていただいている。</p>
<p>□進路指導 ○各種資格が取れる。 肯定的意見 (H29 生徒 65%、保護者 60%) (H28 生徒 58%、保護者 63%) (H27 生徒 62%、保護者 63%) 〔取得可能な資格〕 実用英語技能検定、日本漢字能力検定、日本語ワープロ検定、情報処理技能検定、文書デザイン検定、プレゼンテーション作成検定、パソコンスピード検定、茶道裏千家今日庵初級、文部科学省後援硬筆・毛筆書写検定</p> <p>○進路に必要な情報は適切に提供されている。 肯定的意見 (H29 生徒 87%、保護者 84%) (H28 生徒 82%、保護者 84%) (H27 生徒 82%、保護者 79%) 進路情報に関しては80%以上の肯定的な意見が得られたが、やはり100%満足させなければならない。指定校推薦などの情報をわかりやすく速やかに生徒へ伝えることなど、今後も改善していかなければならない。</p> <p>○授業・模擬試験が進路に対応している。 肯定的意見 (H29 生徒 81%、保護者 77%) (H28 生徒 78%、保護者 72%) (H27 生徒 75%、保護者 72%)</p>	<p><各種資格が取れる> 生徒の約35%は資格取得に不満を感じている。取得可能な資格について、周知を徹底していく必要がある。また入試に関係する資格や、卒業後に仕事で活用できる資格について、早期から重要性を説明していく必要がある。</p> <p><進路情報の適切な提供> 生徒・保護者ともに肯定的な意見が多い。今後は100%を目指し生徒・保護者ともに満足してもらえるように、幅広い分野に対応できるよう特別指定校・指定校などを増やしていく必要がある。</p> <p><授業・模擬試験の対応> 今後、更なる授業の充実と受験対策を取り入れていくことで、肯定意見の増加を期待する。また希望者に対して、進路実績の情報を開示していくことも考えられる。</p>
<p>□教員研究・研修 ○本校の教員は教育熱心である。 肯定的意見 (H29 生徒 80%、保護者 85%) (H28 生徒 82%、保護者 83%) (H27 生徒 79%、保護者 81%)</p> <p>○お子さんは授業が分かりやすいと感じている。 肯定的意見 (H29 生徒 78%、保護者 71%) (H28 生徒 78%、保護者 73%) (H27 生徒 73%、保護者 68%)</p> <p>○校内の施設、設備はよく整備されている。 肯定的意見 (H29 生徒 85%、保護者 93%) (H28 生徒 83%、保護者 95%) (H27 生徒 84%、保護者 92%)</p>	<p><本校教員は教育熱心か> 生徒・保護者とも80%以上と高い評価を得ている。教員の教育姿勢や行事に取り組む姿勢が生徒にも反映されていると思われるので、今後も何事にも熱心に教育・指導することが大切である。</p> <p><授業が分かりやすい> 生徒・保護者とも80%未満であり低いと思われる。公開授業・参観日などによる、授業の内容の工夫・改善を行う必要がある。また外部の勉強会・講演会などにも積極的に参加し、授業研究をしていく必要がある。</p> <p><学校内の施設、設備はよく整備されている> 生徒・保護者とも高い数値で満足されていると思われる。設備面で老朽化した個所も見受けられるので、随時改善が必要である。全学科男女共学に向けて、設備の改善、改修は計画検討中である。</p>

[自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見]

3. 本年度の取り組み内容及び自己評価

中期目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学習指導構想	(1) 基礎学力の定着	・外部模試の活用	基礎力診断テストでの学習到達ゾーンで、各学年 B 以上を 20%以上	学習到達ゾーンB以上の生徒 (5 月実施分) は、8%であった。基礎の定着を図るためにも学年・教科による対策を行い、基礎学力を底上げしていく必要がある。
	(2) 家庭学習習慣の定着	・進路マップの活用 ・模試に向けた学習の取り組み ・自習室の活用	生徒の自宅学習時間を増加・自習学習時間1時間以上の生徒を全体で40%以上	自宅学習時間が1時間以上であると回答した生徒は全体で27%であった。昨年度と比べ10%上昇した。しかし学年ごとに見ると、3年生より2年生、2年生より1年生のように、下位の学年ほど自宅学習時間が多い傾向にあった。学年が上がっても自宅学習時間を維持できるよう、また学習時間が増加するように指導していきたい。
生活指導構想	(1) 思いやりと礼節、礼儀正しい生徒の育成	・校門指導とあいさつ運動 ・茶道を通した礼儀教育 ・遅刻防止指導	毎日実施 1年生で週1回1時間実施 各クラスの年間遅刻回数100回以下	毎朝校門指導を行い、その折教員からも挨拶をするようにしている。教員からの挨拶より前に自主的に挨拶を行い、校内外問わず普段から挨拶する習慣が出来るなど、成果が上がってきている。 茶道を通して身についた礼儀は、全体集会の始まり・終わりに丁寧な「礼」をすることができるなど成果が上がってきている。 平成29年度、指標を達成できたクラスは11クラス中1クラスであった。今後さらに指導する必要がある。
	(2) 頭髪違反生徒の指導	・頭髪指導	年6回実施	定期的に6回頭髪指導を実施するとともに、日常も継続的な指導を行った。平成29年度、違反した生徒は7名であった。
	(3) 物を大切に扱う心の教育	・校内外の清掃活動	校外清掃年2回以上実施	今年度の実施は2回にとどまった。来年度は、年間行事予定を考慮しながら回数を増やす方向で検討していく。
	(4) いじめをさせない・解決できる学校	・いじめに対する人権教育 ・いじめアンケート	1回実施 年3回実施	今年度は学期に1回各学年実施することができた。HRの時間等を利用して、いじめアンケートを各学年で年3回実施。いじめの早期発見・早期対処に努めた。また、日常的にも学年会議の中で状態の把握に努めた。
	(5) 教師個々の力量だけによらない生活指導の実践	・ポイント制	4月始業式から3月終業式まで実施	服装などの項目を設け、ポイント制による生活指導を実践している。全教員が生徒に声かけをし、無理なく継続指導を行うことができています。
進路指導構想(1)	(1) 進路先の確保	・受験者数の確保 系列大学 (大阪商業大、神戸芸工大、至学館大)	入学者数 5 名以上	系列大学の進学者数 今年度 5 名 (昨年度 7 名) 今年度は神戸芸術工科大学、至学館大学の入学者がいなかった。今後も大学入試広報と連携し、学内での進学説明会、オープンキャンパスの参加を勧めていく。
		その他の四年制大学	入学者数 70 名以上	その他の四年制大学への進学者数 42 名 (31% : 昨年度 65 名) 大阪女子短期大学募集停止に伴い、短大と同様の学問領域を希望する生徒は他短大に進学した。四年制大学への進学者は減少したが、専門学校への進学が増加した。今後も進路指導体制を発展させていく (入試情報を集め、進路指導室を開放し、生徒が自由に資料を閲覧できる状態にしている。また実力判定模試、進研模試を実施し、ファインシステムの利用により、生徒の実力を教員が把握するよう努力している。さらに教員対象入試説明会にも積極的に参加し、他大学との連携を強め、生徒への入試指導に当たっている)。 また看護系、栄養系、教育養護系などの理系分野に進学を希望する生徒が増加し、対策が必要である。
		・懇談会による保護者、生徒の進路に対する目標の把握	各種懇談会の実施回数が年2回以上	各学年で各種懇談会を年2回実施した。また進路変更があった場合には、追加で懇談も実施している。

進路構想(2)	(2)進路学習	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得による、受験への活用 	各級の合格率20%以上	<p>漢検対策として、朝の漢字学習プリントを作成・実施した。また定期的に漢字テストを実施し、生徒の習熟度を確認した。</p> <p>2級：受験者 22名 合格者 0名 (合格率 0%) 準2級：受験者 102名 合格者 11名 (合格率 11%) 3級：受験者 201名 合格者 25名 (合格率 12%)</p>
	(3)コース制の実施	<ul style="list-style-type: none"> 課外講座を活用した受験対策の実施 教職員による模擬面接の実施 各コースの単年度目標に沿った学習活動の実施 〔特編コース〕 課外セミナー実施による基礎学力の定着 〔短大コース〕 高短連携授業の実施 〔進学コース〕 受験に向けた各種資格の取得 〔理系・看護コース〕 看護医療系ガイダンスの充実と受験対策 	各級の合格率20%以上 有料セミナー登録者 100名 勉強クラブ登録者数 80名 希望者に実施 コース内容の充実	<p>英検対策として、有料セミナーを取り入れ、面接指導を実施することで、英検対策や受験対策に活かしている。</p> <p>2級：受験者 9名 合格者 0名 (合格率 0%) 準2級：受験者 82名 合格者 17名 (合格率 21%) 3級：受験者 55名 合格者 32名 (合格率 58%)</p> <p>漢検及び英検において2級の合格者は出なかった。進学意欲を高めるためにも合格に向け、資格取得に対する意欲を向上させていく必要がある。</p> <p>「勉強クラブ」は放課後に生徒が自習できるように、学校で教員を配置し、勉強の環境を整えたクラブである。登録者数は今年度 39名となった。昨年よりは増加しているが、1人でも多くなるように今後も啓発を行っていく。</p> <p>希望者には複数回の実施を行い、丁寧な指導をすることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 特編コースでは、授業だけでなく課外セミナーなども活用して学習習慣の定着や、学力の底上げができるように指導した。 短大進学の際に活用できる分野（保育・ファッション・製菓・栄養・コンピュータスキル）の学習指導を行った。 推薦入試に活用できる資格取得を促した。推薦入試に活用するだけでなく、卒業後にも活かすことができる資格取得を促した。 看護医療系ガイダンスおよび看護模試を実施した。また大阪府の看護体験にも参加した。
教員研修構想	(1)教員の力量を向上させるため研修会を実施	<ul style="list-style-type: none"> 若手・中堅教員対象研修会 学内教員研修会の実施 	適宜実施 年1回実施	<p>谷岡学園本部主催で中堅教員の果たす役割や組織運営などの一端を理解するための研修会を実施した。外部講師による講演、テーマ毎の分散会、交流会を実施し、自己研鑽に努めた。</p> <p>学校立て直しのための将来構想委員会を4グループに分け構想を検討した。内容の整理に時間を要し、若手中堅教員への研修は行えなかったが、学校経営や運営の一端を考える良い機会となった。</p> <p>来年度以降も男女共学に向けて様々なコース制充実に向け論議を深めることができた。</p>
	(2)授業スキルの向上	<ul style="list-style-type: none"> 3校合同(大商大高校、大商大堺高校)の研修会の実施 各教員の公開授業 	年1回以上実施 2学期に2週間に亘り、公開授業を実施	<p>外部講師の講演など内容の充実と教員間の親睦が図れるよう三校間で輪番開催している。今年度は8月に『教育実践を通じて子どもたちと育つ先生になるために』についての講演が行われ、個々のスキルアップの一助となった。分散会を実施し、他校の取り組みや授業の工夫などの情報交換が行われた。</p> <p>各教員が公開授業を実施し、他教員の授業を見学する形式で毎年継続実施している。見学後に相互意見を交え、授業研究や授業内容の点検をし、自己研鑽に役立てている。</p>
その他の領域	(1)学校評価の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケート 授業アンケート 	年1回実施 年2回実施	<p>保護者・生徒に対し複数項目に亘りアンケートを実施した。また、外部者(自治会長や区会長など)との外部評価会を設定し意見交換をしている。</p> <p>各教員には年2回授業に関するアンケートを実施。各自で結果を集約し、レポートを提出して研鑽している。</p>
	(2)地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティア活動 	年複数回実施	<p>今年度は、雨天のため実施できなかったが、年1回の校外清掃活動を実施している。生徒会以外の生徒も参加し、地域に貢献していくことを目指している。</p> <p>陸上競技部が近隣の子供クラブ(なにわクラブ)と合同練習をし、子供たちに技術指導をしている。</p> <p>外部の中学校に向けて書道研究会を開催している。(10回目) また、アイセルシュラホールにて卒業書道展を開催している。今後も地域に貢献できるものを検討し、根差したものにしていこうと考えている。</p> <p>藤井寺郵便局の年賀状コンクールの企画を後援し、コンクールの活性化に役立てた。(平成29年度で3回目)</p> <p>藤井寺駅構内で生徒会主導による募金活動を行った。今年度は日本盲導犬協会へ寄付を行った。</p>
	(3)設備・防災対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> 施設や設備環境の改善・改修 緊急支援物資の購入 	適宜購入	<p>高校棟火災感知器取替え、ガス漏れ警報設備の補修、AEDのバッテリー、パッドの交換など設備面での安全確保と防災対策を施した。</p>

学校関係者評価 懇談会議事録

日 時：平成 30 年 10 月 12 日（金）10 時 00 分～11 時 30 分

場 所：事務棟 2 階会議室

出席者：藤井寺区長会会長、校長、校長補佐、教頭、事務長、事務職員

はじめに、校長より本日の趣旨について説明がなされた。

引き続き、教頭より資料に基づき、平成 29 年度の 1. 目指す学校像、2. 中期目標について説明がなされた。

○自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

教頭より、資料に基づき平成 30 年 2 月に実施した生徒並びに保護者アンケートの結果と分析、学校評価委員会からの意見について説明がなされ、校長補佐より各目標単位で補足説明がなされた。

<学習指導>

- ・クラスの運営に対して概ね満足しているが、少しずつでも満足度を 100%に近づけるよう努力するべきであり、また、否定的な意見については原因を解明のうえ改善する必要があると考えます。
- ・授業について、学年が進行するに伴い学習意欲が低下しており、予習・復習や授業の大切さを再認識させる必要があると考えます。
- ・学校行事について、生徒・保護者とも満足できる内容であると考えられますが、3 年生の満足度が他学年と比べ低く、原因を把握し改善策を考える必要があります。
- ・部活動の満足度は低いものの、クラブ加入率は増えており、徐々にではあるが活性化してきており、今後は男子クラブの充実も図っていく必要があります。

[校長補佐からの補足]

- ・今年度から男子生徒が入学したことにより、学習意欲等が向上しており、良い刺激となっていると考えられます。
- ・学校行事については、新しい行事等も検討を行っていきたいと考えます。

<生徒指導>

- ・学校の雰囲気について、概ね高い評価であり、保護者からは 90%以上の肯定的意見をいただいているが、生徒については減少しており、要因を解明する必要があると考えます。
- ・学校の規則の妥当性と遵守、生活指導の納得度について、保護者は肯定的な意見が 80%以上であり、生活指導に理解が得られていると考えられますが、生徒の肯定的な意見が低いのは不公平感があることも推測されるため、指導方法や学則規定に関しても改善が必要であると考えます。
- ・親身になって話を聞いてくれるについて、教員の生徒への対応の丁寧さにより肯定的

な意見が上がっていると考えられます。今後は100%を目指して教員の資質向上を図っていきます。

- ・挨拶があふれる学校について、80%以上が肯定的な意見であり、多くの生徒が挨拶をしていると言えます。今後も教員側から積極的に働きかけていく必要があると考えます。

[校長補佐からの補足]

- ・保護者の90%以上が入学してよかったと評価いただいていることは意義があると考えます。今後、100%となるように目指していきたいと考えます。
- ・親身になって話を聞いてくれるについて、教員がしっかりと生徒の話に耳を傾け、適切に対応していくことで100%を目指せると考えます。
- ・生徒指導について、学則を守る必要性を示し、生徒が納得をした上で学則を守れるように指導していくことが必要と考えます。
- ・挨拶はぜひ生徒を見ていただき、実感いただきたいと思います。

<進路指導>

- ・各種資格について、生徒の約35%は不満を感じています。そのため、取得可能な資格について周知徹底し、早期から資格取得の重要性を説明していく必要があると考えます。
- ・進路情報の適切な提供について、生徒、保護者共、肯定的な意見が多く、今後も100%を目指し、幅広い分野の特別指定校、指定校等を増やしていく必要があります。

[校長補佐からの補足]

- ・資格について、生徒及び保護者に対し、取得の目的や取得方法、将来への有益性等、詳細な情報を適切に周知する必要があります。
- ・進路情報について、生徒に適切に提供するために、教員もしっかりと情報を得る必要があると考えます。

<教員研究・研修>

- ・教員の教育について、生徒、保護者共に、80%以上が教育熱心であると評価しており、今後も熱心に教育、指導することが大切であると考えます。
- ・授業の分りやすさに対して、生徒、保護者共、80%未満であり評価が低い状況です。授業内容の工夫や改善を行う必要があります。外部の勉強会等で授業研究をしていく必要があると考えます。
- ・校内施設、整備について、生徒、保護者共、高い数値で満足されていますが、老朽化は否めず、随時改善・改修が必要です。また、全学科共学化に向けた改善・改修は検討中です。

[校長補佐からの補足]

- ・校内施設、設備について、近隣からの音漏れ等の苦情に対し、真摯に対応を続けていきます。

○本年度の取り組み内容及び自己評価

教頭より、資料に基づき中期目標における重点目標、具体的な取組計画・内容、評価指標、自己評価について説明がなされた。

<学習指導構想>

- ・基礎力診断テストでの学習到達ゾーンB以上の生徒は、8%であり、基礎の定着を図るためにも対策を行い、基礎学力を底上げしていく必要があると考えます。
- ・自宅学習時間が1時間以上の生徒は全体で27%であり、昨年度より10%上昇したが、下位の学年ほど自宅学習時間が長い傾向にあり、学年が上がっても維持できるよう指導が必要と考えます。

<生活指導構想>

- ・校門指導と挨拶運動について、毎朝校門指導を行っており、自主的に校内外問わず普段から挨拶をする習慣が出来るなど、成果が上がっております。
- ・1年生の茶道を通じての礼儀教育は一定の成果があがっております。
- ・評価指標各クラスの年間遅刻回数100回以下について、11クラス中1クラスのみ達成であり、更なる指導が必要であると考えます。
- ・頭髪指導について、定期的実施しており、日常も継続的な指導を行っております。
- ・いじめに関しては、早期発見・早期対処に努めております。
- ・ポイント制による生活指導について、服装等の項目を設けて実践し、全教員が生徒に無理なく継続指導を行っております。

<進路指導構想>

- ・4年制大学入学者数70名以上の評価指標について、平成29年度は31%の生徒が4年制大学へ進学しております。併設短大の募集停止に伴い、同様の学問領域を希望する生徒は他の短大へ進学いたしました。また、系列大学の入試広報と連携し系列大学への進学も強化していきます。
- ・漢検、英検各級の合格率20%以上の評価指標について、各級とも達成できませんでした。進学意欲を高めるためにも合格に向け、資格取得に対する意欲を向上させる必要があります。
- ・勉強クラブ登録者数80名の評価指標について、勉強クラブは、放課後に自習できるような環境を整えたクラブであり、登録者数は39名と昨年度より増加しましたが、今後も啓発を行っていく必要があると考えます。
- ・コースの内容充実について、特編コースは学習習慣の定着や学力の底上げが出来るよう指導を行いました。短大コースは進学の際に活用できる分野の学習指導を行いました。また、推薦入試および卒業後に活用できる資格取得を促し、看護医療系ではガイ

ダンスと看護模試の実施並びに看護体験への参加も行いました。

<教員研修構想>

- ・学園本部主催で中堅教員の果たす役割や組織運営の一端を理解する研修会を実施いたしました。
- ・将来構想委員会を 4 グループに分け、構想を検討することにより、学校経営や運営の一端を考える機会となりました。
- ・系列3校合同研修会を実施しており、個々のスキルアップの一助とし、他校の取り組みや授業の工夫について情報交換を行っております。
- ・他教員の授業を見学する公開授業を実施、自己研鑽に役立てています。

<その他の領域>

- ・学校評価アンケートについて、保護者、生徒に対して複数項目を設けて、アンケートを実施し、外部者との外部評価懇談会を実施し、意見交換を行っております。
- ・地域との交流について、陸上競技部は、近隣の子供クラブと合同練習を行い、子供たちに技術指導をしております。また、アイセルシュラホールにて、10 回目となる卒業書道展を開催しております。
- ・藤井寺郵便局の年賀状コンクールに後援し（3 回目）、コンクールの活性化に役立ちました。
- ・藤井寺駅構内で生徒会主導による募金活動を行い、日本盲導犬協会へ寄付を行いました。
- ・火災感知器取替え、ガス漏れ警報設備の補修、AED 消耗品の交換等、設備面での安全確保と防災対策を行いました。

出席者からの意見及び本校の回答

意見（区長会会長）…学則は守らなければいけない、守るべきものであり、守ることを覚えるべきであると思います。そういった点で学則はよく守られており、楽しそうによく学ばれていると感じます。学則の改善は大変であると思いますが、今ある学則も大切にしていきたいと思います。

意見（区長会会長）…今の高校生たちは将来のことをどのように考えていますか？

回答（校長補佐）…まだまだ将来像はしっかりと持っていないのが現状です。そのため、教員は早い段階から生徒に情報を与え、目標を持つように意識付けしていくことが重要であると考えます。

意見（区長会会長）…資格については、社会に出た後、どのくらい実践に役立つものでしょうか。

回答（校長補佐）…難しい部分もあります。例えば英検に関して、入試制度の変更にともない取得すると優位になる場合があることや取得した資格が将来どのような役にたつのかを説明し、生徒が理解することが重要であると考えます。

意見（区長会会長）…挨拶については十分にされておられると見受けます。態度の悪い生徒は本当におらず、服装の乱れもないと思います。

回答（校長補佐）…言葉遣いについては、課題の部分もあると思っております。友達感覚で話すことで、様々な話を出来る部分もありますが、教育的な側面からは課題であると考えます。

意見（区長会会長）…SNS等でのやり取りに慣れた世代として、やはり語彙力の不足が気になります。きっちりとした言葉で挨拶をすること、相手に対する尊敬の念を持つことは教員にも必要であると思います。子どもには生きる力を身につけさせる必要があり、そのために高校生活は貴重な3年間です。

意見（区長会会長）…校内での携帯電話の取扱いはどのようになっていますか。

回答（校長補佐）…授業中は禁止にしております。休憩時間は保護者からの緊急の連絡等もあるため、禁止していません。ただし、社会的なルールもあり、それをどのように生徒に伝え、指導していくかは課題であると考えます。

意見（区長会会長）…歩きスマホ等に対するマナーは公のルールであり、しっかりと生活指導において教育いただきたいです。

意見（区長会会長）…遅刻の防止について毎年お伺いしますが、減少していない状況でしょうか。

回答（校長）…同じ生徒が遅刻をしてしまう状況があります。ただ、今後の課題においては評価指標の見直しを検討するべきと考えております。

意見（区長会会長）…茶道を通した礼儀教育がありますが、共学化になり、男子生徒への対応を新たに検討すべきではないですか。

回答（校長補佐）…今年度、箏曲部に男子生徒が1名入部いたしました。茶道の授業だけでなく、クラブ活動においても礼儀や振る舞いを学べるようにしていきたいと考えております。

意見（区長会会長）…男子が入学し、変化はありましたか。

回答（校長補佐）…現在は女子高として入学した生徒と共学で入学した生徒が混在しておりますが、校舎を分けて対応しております。来年度からは全学的に共学化となり、様々な課題があるのは事実です。

意見（区長会会長）…短期大学の施設はどのようにされていますか。

回答（校長補佐）…短期大学において、栄養士コースや製菓コースが利用していた施設は、現在、調理製菓科が利用しており、活用できております。また、幼児教育科の施設については、来年度より保育系進学コースとして活用していく予定です。

意見（区長会会長）…課外活動の英語検定や漢字検定は、難しいですね。

回答（校長補佐）…今後の大学入試等の変革にあわせ、検定等も重要になってくると考えており、取得意欲を向上させる必要があると考えます。

意見（区長会会長）…進学先として、商業系が多いのですね。看護医療系は少ないですか。

回答（校長補佐）…看護系を希望する生徒は一定数おりますが、なかなか厳しい状況です。なぜなら、看護師の国家試験を合格させなければいけなく、ある程度学力のある生徒を求めているので指定校推薦の枠がとれないのが現状です。成績優秀な生徒を一般入試で入学させる傾向が

あります。その現状の中で指定校を増やすことに奮闘しています。

意見（区長会会長）…自宅学習は少なくなりましたね。少しでも学習の習慣を付けることが必要であると考えます。予習・復習等は言わなくなったのですか。

回答（校長補佐）…確かに宿題は減っている傾向にあります。ただし、自宅学習ではなく、放課後に学校で学習をする生徒が増えております。そのため、学校で自主学習ができる環境整備が重要であると考え、対応しております。

最後に、校長より、アンケート結果においては、「そう思う」「ややそう思う」を肯定的意見としてまとめておりますが、今後は「そう思う」が増えるように満足度を高めていくこと、特に、授業や教育に関する事項については、70～80%ではなく、90%以上となるように尽力していきたいと説明がなされました。

学校外部評価をうけて（学校評価委員会 議事録）

日 時：平成 30 年 10 月 15 日（月）8 時 50 分～9 時 30 分

場 所：事務棟 2 階会議室

出席者：校長、校長補佐、教頭、委員 3 名、事務職員

はじめに、校長より 10 月 12 日に開催した学校関係者評価懇談会の概要が説明され、本日の趣旨が説明された。

引き続き、資料「平成 29 年度 大阪緑涼高等学校 学校評価」「学校関係者評価 懇談会 議事録」に基づき、報告がなされた。

○自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

<学習指導>

- ・「クラスは楽しいについて、概ね満足している結果であったが、満足度を 100%に近づけるように努力をすべきであり、否定的な意見に対しては真摯に受け止め、早急に改善する必要がある。」と説明いたしました。
- ・「授業に対する意欲については肯定的であるが、2 年生になると低下するため、目標の意識付け、予習・復習や授業の大切さを再認識させることが必要である。」と説明いたしました。
- ・「学校行事について、生徒・保護者ともに満足できる内容であると考えられるが、3 年生の満足度が他の学年に比べ低く、原因の究明と改善策を考える必要がある。」と説明いたしました。
- ・「部活動について、半数以上が加入しており、今後は男子クラブの充実も図っていく必要がある。」と説明いたしました。

<生徒指導>

- ・「学校の雰囲気、入学してよかったかについて、生徒・保護者ともに肯定的であり、学校全般として一定の評価をいただけている。」と説明いたしました。
- ・「学校規則の妥当性と遵守・生活指導の納得度について、保護者には概ね理解いただけているが、生徒には不公平感があることが推測され、生徒への説明をさらに丁寧に行い、指導方法や学則規定の改善が必要と考える。」と説明いたしました。
- ・「親身になって聞いてくれるは、満足度 100%を目指して教員の質向上を図る。」と説明いたしました。
- ・「挨拶は多くの生徒が行っており、今後も教員側からも積極的に働きかけていく必要がある。」と説明いたしました。

<進路指導>

- ・「入試や卒業後に活用できる資格について、早期から重要性を説明していく必要があり、取得可能な資格の再検討も考えている。」と説明いたしました。
- ・「進路情報について、満足度 100%を目指し、特別指定校・指定校などを増やしていく必要がある。」と説明いたしました。

<教員研究・研修>

- ・「教員は教育熱心かについて、生徒・保護者ともに 80%以上と高い評価を得ており、今後も熱心に教育・指導することが大切である。」と説明いたしました。
- ・「授業について、生徒・保護者ともに 80%未満と低いため、授業内容の工夫・改善を行い、外部の勉強会等で積極的に授業研究をする必要がある。」と説明いたしました。

○本年度の取り組み内容及び自己評価と外部評価者からの意見

<学習指導構想>

- ・「基礎力診断テストでの学習到達ゾーン B 以上の生徒は、8%であり、基礎の定着を図るためにも対策を行い、基礎学力の底上げをしていく必要がある。」と説明いたしました。
- ・「自宅学習時間について、昨年度より 10%上昇したが、学年が上がっても維持できるように指導が必要である。」と説明いたしました。それに対し、「自宅学習は少なくなりましたね。少しでも学習の習慣を付けることが必要であると考えます。」と意見をいただき、「自宅学習ではなく、放課後に学内で学習をする生徒が増えており、自主学習ができる環境整備が重要と考え、対応しております。」と回答いたしました。

<生徒指導構想>

- ・「校門指導と挨拶運動について、校内外問わず普段から挨拶をする習慣が出来るなど、成果が上がっている。」ことに対し、「挨拶については十分にされており、態度の悪い生徒は本当におらず、服装の乱れもないと思います。」とお褒めの言葉をいただきました。
- ・「言葉遣いについて、SNS 等でのやり取りに慣れた世代として語彙力の不足が気になります。」「きっちりとした言葉で挨拶を行うこと、相手に対する尊敬の念を持つことは教員にも必要であると思います。」との言葉をいただきました。
- ・「茶道を通した礼儀教育は、一定の成果が上がっている。」との説明に対し、「共学化に伴い、男子生徒への対応を新たに検討するべきと考えます。」と意見をいただき、「茶道の授業だけではなく、クラブ活動においても礼儀や振る舞いを学べるようにしていきたい。」と回答いたしました。
- ・「遅刻について、評価指標を達成したクラスは、11 クラス中 1 クラスだけであり、今後

さらに指導をする必要がある。」との説明に対し、「遅刻は毎年お伺いしており、減少していない状況でしょうか。」と問われました。それに対し、「同じ生徒が遅刻をする状況があり、今後の課題として評価指標の見直しを検討するべきと考えております。」と回答いたしました。

- ・「学則は守らなければならない、守るべきものであり、守ることを覚えるべきであると思います。そういった点で、学則はよく守られており、楽しそうに学ばれていると感じます。今ある学則を大切にしていきたいと思います。」とご意見をいただきました。
- ・「校内での携帯電話の取扱いはどのようになっておりますか。」と質問があり、「授業中は禁止しております。休憩時間は緊急連絡等もあるため、禁止しておりません。ただし、社会的なルールもあり、それをどのように生徒に伝え、指導していくかは課題であると考えます。」と回答いたしました。

<進路指導構想>

- ・「進路先として、系列大学への進学や、その他 4 年制大学へ 31%の生徒が進学しており、理系分野に進学を希望する生徒も増加しており、対策が必要である。」と説明いたしました。それに対し、「進学先として商業系が多いのですね。看護医療系は少ないですか。」との質問があり、「進学を希望する生徒は一定数おりますが、看護系は国家試験に合格させる必要があるため、成績優秀な学生を一般入試で入学させる傾向があり、指定校推薦枠を取れない現状であるが、その中で指定校を増やすことに奮闘しています。」と回答いたしました。
- ・「漢検、英検各級の合格率 20%以上は目標として掲げた以上、達成できる指導内容やスケジュールを詳細に、緻密に計画していきたい。また、取得可能資格も見直しながら、取得に対する意欲を向上させる必要がある。」との説明に対し、「資格は社会に出た後、どのくらい実践に役立つものでしょうか。」「英語検定や漢字検定は難しいのですね。」との意見をいただきました。それに対し、「入試制度の変更に伴い、資格取得が優位になる場合があること、将来資格がどのように役立つのかを説明し、生徒が理解することが重要であると考えます。また、検定等は取得意欲を向上させる必要があると考えます。」と回答いたしました。

<教員研修構想>

- ・「学園本部主催で中堅教員の果たす役割や組織運営の一端を理解する研修会、3 校合同研修会、教員の授業公開を実施しています。」と説明いたしました。

<その他の領域>

- ・「学校評価アンケートについて、生徒・保護者に対して複数項目を設定し、アンケートを実施し、外部者との外部評価懇談会を実施し、意見交換を行っている。」と説明いたしました。

- ・「地域ボランティア活動について、陸上競技部の近隣の子供クラブへの技術指導、中学校向けの書道研究会、年賀状コンクール企画の後援、生徒会主導の募金活動等を行いました。」と説明いたしました。
- ・「火災感知器取替え、ガス漏れ警報設備の補修、AED 消耗品の交換等、設備面での安全確保と防災対策を行いました。」と説明いたしました。

[委員からの意見]

- ・学習に関する評価について「授業がわかりやすい」「授業に意欲的に取り組んでいる」の項目で「そう思う」の評価が低いことについて授業や学習面は、特に改善していかなければいけないと思います。
- ・遅刻に関する評価指標を達成できたクラスが 11 クラス中 1 クラスであるのは、生徒に遅刻は 11 回目までは大丈夫との意識があり、遅刻をしてはいけないという意識がないからと考えられます。評価指標としての目標がしっかりと教員及び生徒に伝わっていないと思います。目標を周知徹底する必要があると考えます。
- ・生徒に、8 時 40 分までに登校すれば大丈夫との認識があり、8 時 30 分までに登校すると意識がない生徒が多いと感じます。朝の読書の時間を設けていることもあり、8 時 30 分には自分の席に着き、読書を行うことをしっかりと指導する必要があると考えます。
- ・2 年連続で同じクラスを担当した際、生徒に昨年度の遅刻の状況を示し、今年度の目標を設定する運営を行いました。その結果、2 学期になると生徒自らが目標を達成するために、クラス内への声かけを行うといった行動が出来るようになりました。校長より非常に良い取り組みなので、是非、生活指導部の分掌会で提案してくださいと提案がありました。

[校長補佐による総括]

- ・区長会会長は、共学化により今年度男子生徒が入学したことによる変化を気にしておられました。
- ・本学の反省すべき事項は反省し、その上で提示した改善策等には共感をいただけたと思います。本学の取り組んでいる方向性は間違っていないと思いますので、引き続き対応等を進めていきたいと思っています。

[校長による総括]

- ・区長会会長には、本学の取り組みに対してお褒めの言葉をいただくことができました。今後も引き続き、本学の教育に誇りを持って取り組んでいきたいと考えます。
- ・近隣からお叱りの意見をいただくこともありますが、学校評価の指標を検討する上で、様々な意見を参考に、方針や方向性を決めていきたいと考えます。

学校関係者評価 懇談会議事録

日 時：平成 30 年 10 月 15 日（月）15 時 55 分～16 時 45 分

場 所：事務棟 1 階 応接室

出席者：春日丘区長、校長、事務職員

※本議事録は平成 30 年 10 月 12 日（金）の学校関係者評価懇談会に欠席であった学校関係者評価委員である春日丘区長（以下「区長」という。）とあらためて懇談会を行ったものである。

はじめに、校長より、本日は来校いただいたことへのお礼を述べられた。その後、区長より、今年度の学校評価については藤井寺区長会会長に一任しており、特に読むべき項目等を教えていただければとの話であったが、校長より大阪緑涼高等学校の学校評価についての説明をさせていただき、ご助言・ご意見を賜りたいと述べられた。

引き続き、資料「平成 29 年度 大阪緑涼高等学校 学校評価」に基づき、報告がなされた。

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見について、校長より説明がなされた。

最初に、「学習指導」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「クラスは楽しいについて、概ね満足している結果であったが、満足度を 100%に近づけるように努力をすべきであり、否定的な意見に対しては真摯に受け止め、早急に改善する必要がある。」と説明がなされた。
- ・「授業に対する意欲については肯定的であるが、2 年生になると低下するため、目標の意識付け、予習・復習や授業の大切さを再認識させることが必要である。」と説明がなされた。
- ・「学校行事について、生徒、保護者共、満足できる内容であると考えられるが、3 年生の満足度が他の学年に比べ低く、原因の究明と改善策を考える必要がある。」と説明がなされた。
- ・「部活動について、半数以上が加入しており、今後は男子クラブの充実も図っていく必要がある。」と説明がなされた。

引き続き、「生徒指導」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「学校の雰囲気、入学してよかったについて、生徒、保護者共、肯定的であり、学校全般として一定の評価をいただけている。」と説明がなされた。
- ・「学校規則の妥当性と遵守・生活指導の納得度について、保護者には概ね理解いただけているが、生徒には不公平感があることが推測され、生徒への説明をさらに丁寧に行い、指導方法や学則規定の改善が必要と考える。」と説明がなされた。
- ・「親身になって聞いてくれるは、満足度 100%を目指して教員の質向上を図る。」と説

明がなされた。

- ・「挨拶は多くの生徒が行っており、今後も教員側からも積極的に働きかけていく必要がある。」と説明がなされた。

引き続き、「進路指導」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「入試や卒業後に活用できる資格について、早期から重要性を説明していく必要がある、取得可能な資格の再検討も考えている。」と説明がなされた。
- ・「進路情報について、満足度 100%を目指し、特別指定校・指定校などを増やしていく必要がある。」と説明がなされた。

引き続き、「教員研究・研修」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「教員は教育熱心かについて、生徒、保護者共、80%以上と高い評価を得ており、今後も熱心に教育・指導することが大切である。」と説明がなされた。
- ・「授業について、生徒、保護者共、80%未満と低いため、授業内容の工夫・改善を行い、外部の勉強会等で積極的に授業研究をする必要がある。」と説明がなされた。
- ・「施設・設備について、85%以上であるため、男女共学に向けて改善していきたい。」と説明がなされた。

引き続き、「学習指導構想」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「基礎力診断テストでの学習到達ゾーン B 以上の生徒は、8%であり、基礎の定着を図るためにも対策を行い、基礎学力の底上げをしていく必要がある。」と説明がなされた。
- ・「自宅学習時間について、昨年度より 10%上昇したが、学年が上がっても維持できるように指導が必要である。」と説明がなされた。また、「平成 30 年度からは帰宅するまでに、校内に自習室を完備し、本校教員が自習室で指導を行っている。」と説明がなされた。

引き続き、「生徒指導構想」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「遅刻について、評価指標を達成したクラスは、11 クラス中 1 クラスだけであり、今後さらに指導をする必要がある。」と説明がなされた。
- ・「校門指導と挨拶運動について、校内外問わず普段から挨拶をする習慣が出来るなど、成果が上がっている。」と説明がなされた。
- ・「いじめアンケートについて、今までは無記名で実施していたが、平成 30 年度より記名式で実施している。記名式にしたことにより、根本解決をすることができる見通しである。」と説明がなされた。
- ・「ポイント制について、平成 29 年度は、頭髪・スカートの長さ・化粧等でポイント制と取り入れており、ポイント制を活用しながら教員の力量のみに頼らない生徒指導を行っていた」と説明がなされた。

引き続き、「進路指導構想」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「進路先として、系列大学への進学や、その他 4 年制大学へ 31%の生徒が進学しており、理系分野に進学を希望する生徒も増加しており、多様な進路支援対策が必要で

ある。」と説明がなされた。

- ・「漢検、英検各級の合格率 20%以上は目標として掲げた以上、達成できる指導内容やスケジュールを詳細に、緻密に計画していきたい。また、取得可能資格も見直しながら、取得に対する意欲を向上させる必要がある。」との説明がなされた。
- ・「コース制については、それぞれのコースに従った課外セミナー、また各コースの課題に沿った学習が果たせた」と説明がなされた。

引き続き、「教員研修構想」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「学園本部主催で中堅教員の果たす役割や組織運営の一端を理解する研修会、3校合同研修会、教員の授業公開を実施しています。」と説明がなされた。

引き続き、「その他の領域」について、次のとおり説明がなされた。

- ・「学校評価アンケートについて、生徒、保護者に対して複数項目を設定し、アンケートを実施し、外部者との外部評価懇談会を実施し、意見交換を行っている。」と説明がなされた。

校長からの説明終了後、区長より、次のとおり、質問・意見交換がなされた。

意見（区長）……資料内に掲載している 27 年度・28 年度・29 年度は、昨年度までのデータであり、男子生徒のデータは入っていないですか？

回答（校長）……はい、男子生徒のデータは入っていません。

意見（区長）……西小学校の見守りを行っていますが、今までに、女子生徒に対して背中を叩く暴力事件があったと聞いていますが、現在も続いていますでしょうか？

回答（校長）……その事件に関しては、教員で巡回チームを結成し、巡回を行っていましたが、以降暴力事件があったとは聞いておりません。

意見（区長）……7時30分～8時00分の間に登校する生徒は、立ち止まって会釈をしてくれますが、8時以降に登校する生徒は、認識が少なく、特に男子生徒については、挨拶をしない生徒が多いように思います。

回答（校長）……今後、生徒には、社会人のマナーとして挨拶は大切であることを一層教育し伝えていきたいと思えます。

意見（区長）・・・自宅での自習時間の目標 1 時間は高いのではないのでしょうか？

回答（校長）・・・全教科の宿題・予習・復習を含めての 1 時間であります。平成 30 年度より自習室を完備しておりますが、教員が指導する時間を含めると 1 時間は短いように思えるということです。次年度以降は、自習室を利用している時間もカウントするように検討していきます。

意見（区長）・・・塾は、どのようなカウントになるのでしょうか？

回答（校長）・・・塾は自習時間にカウントしていません。

意見（区長）・・・通塾率は、何%くらいですか？

回答（校長）・・・塾に通っている生徒の統計は、取っていません。

意見（区長）・・・大学進学を考えている生徒に通塾率は高いと思いますが、ほとんどの生徒が、大学・短大・専門学校へ進学し、就職する生徒は少数ですか？

回答（校長）・・・本校の生徒の就職率は少数で、ほとんどの生徒は大学・短大・専門学校への進学希望者です。アンケートの内容を今後は見直しを行い、通塾に関する質問事項も検討していきます。

意見（区長）・・・資格取得率が低いということでしたが、英検はいかがでしょうか？

回答（校長）・・・1・2・3 年と受験していますが、2 級を受験する生徒は、高学年でしたが文理ハイレベルコースが設置された平成 30 年度は、1 年生でもチャレンジする生徒が出ると思っています。

意見（区長）・・・英検の受験対象者は、何名になるのでしょうか？

回答（校長）・・・受験自体は生徒であれば本校で受験できますので、昨年度の在籍者全員が対象となります。

意見（区長）・・・現在の 1・2・3 年の在籍者は何名でしょうか？

回答（事務職員）・・・平成 29 年 10 月 1 日現在の在籍者数は、1 年生 89 名、2 年生 124 名、3 年生 135 名 合計 348 名です。平成 30 年 10 月 1 日現在の在籍

者数は、1年生 159名、2年生 82名、3年生 118名 合計 359名です。
平成 30 年度の男子の在籍者数は、1年生 22名です。

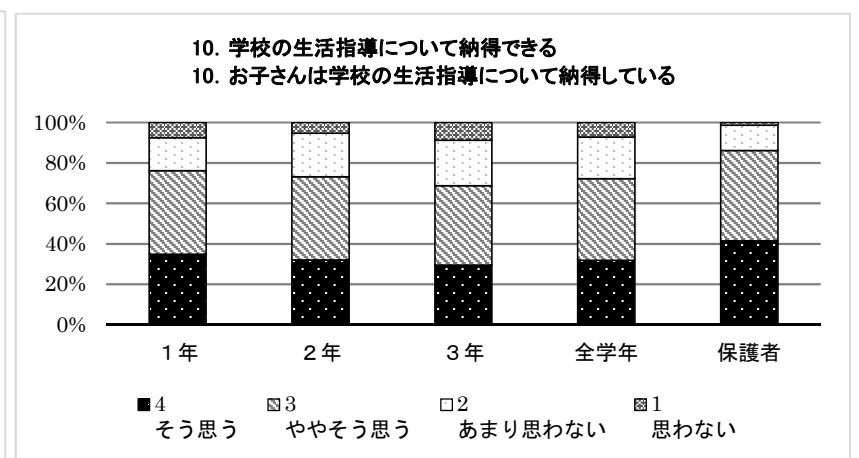
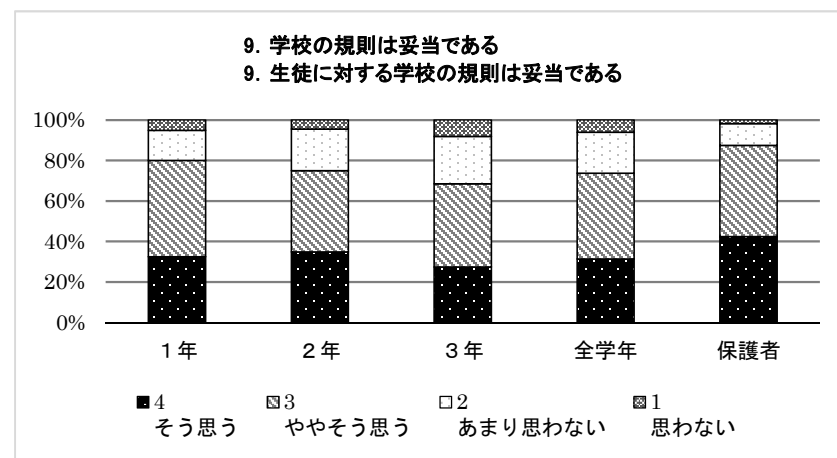
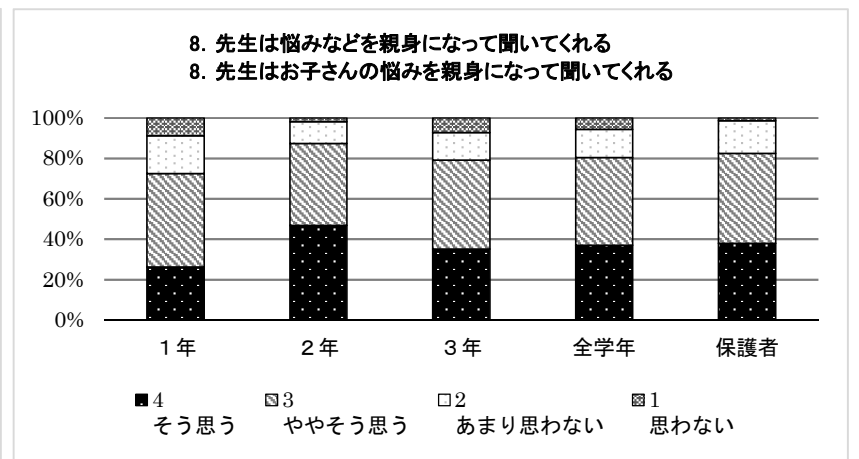
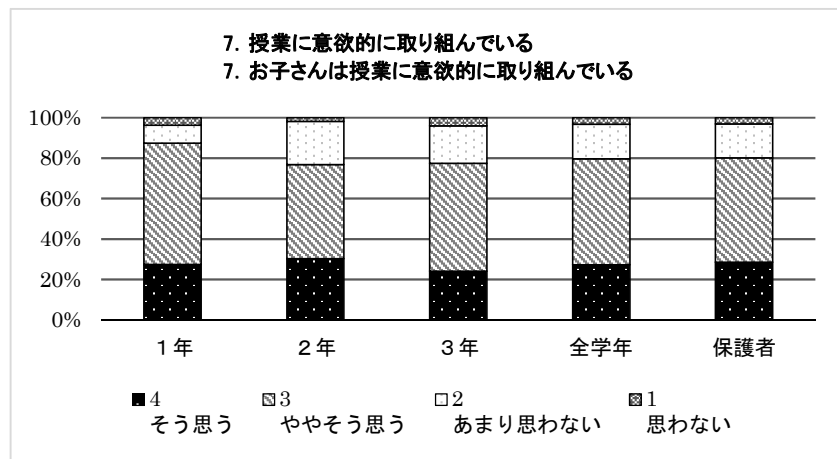
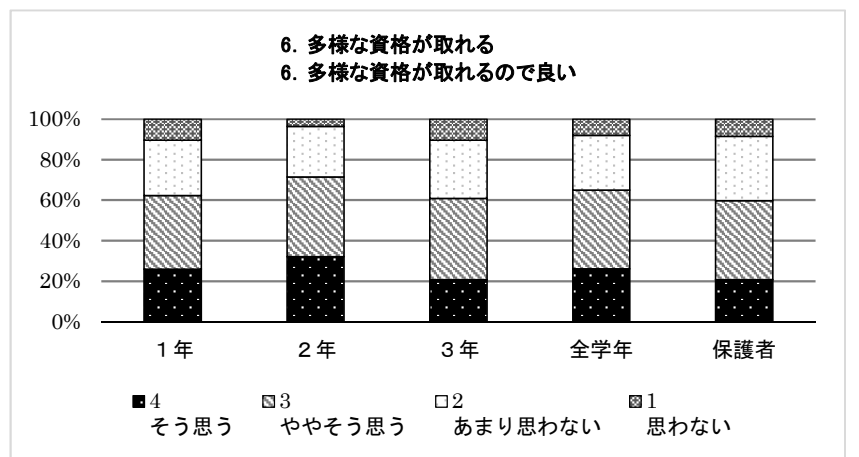
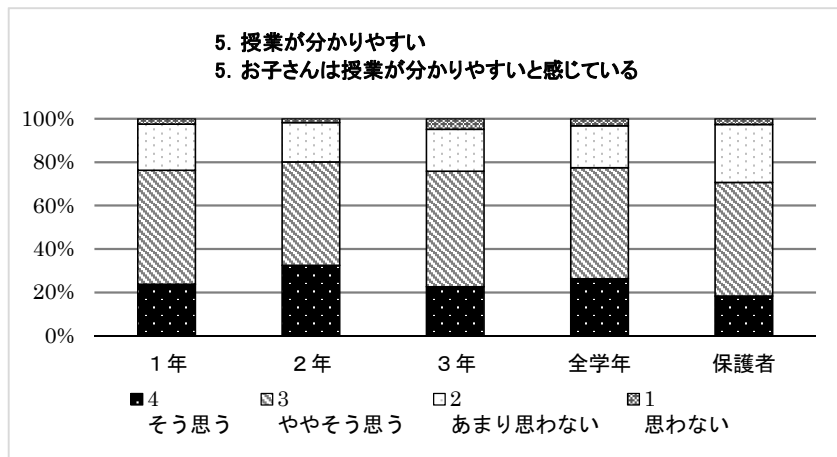
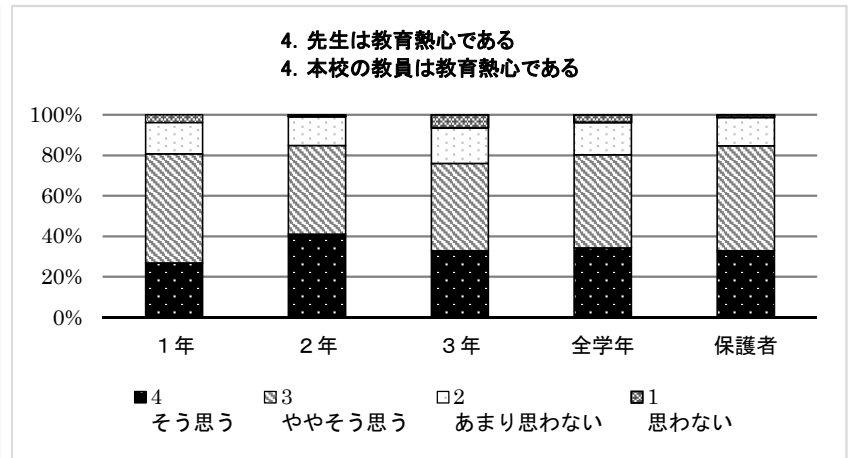
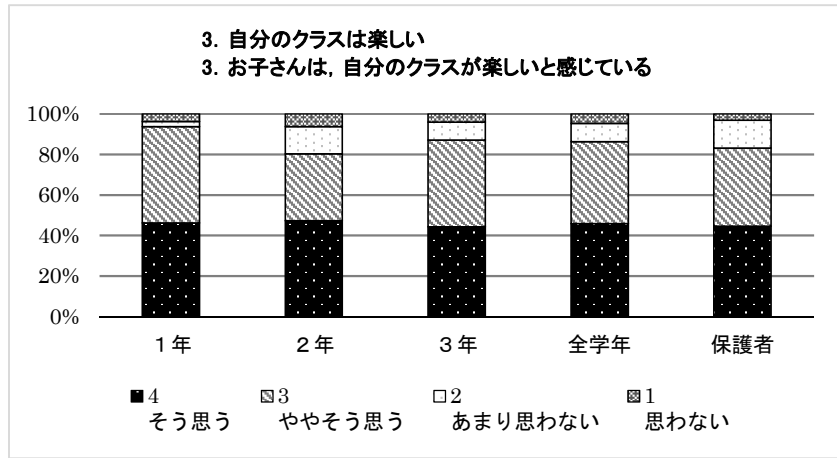
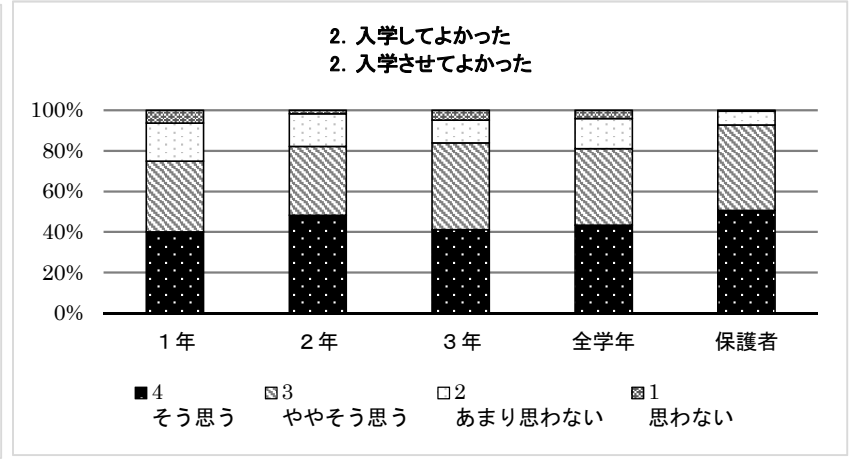
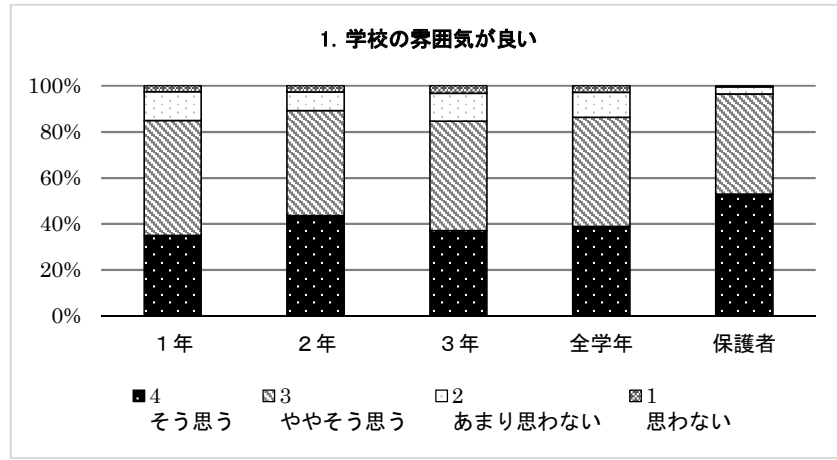
意見（区長）……アンケートの結果を見させていただきますと、全体を通して悪くない結果になっており、特に保護者の結果が高いということは保護者に選ばれるということで悪くはなく、レベルは高いと思います。

意見（区長）……時間厳守で、10分前行動を实践される教育を希望します。

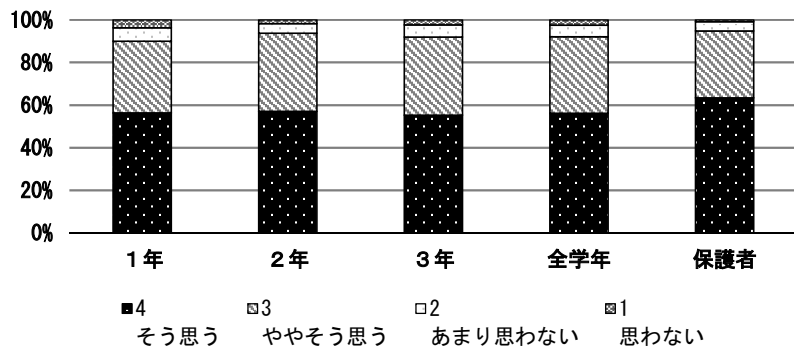
最後に校長より、お忙しい中、本日はお時間をいただきありがとうございましたとお礼を述べられた。

設問		学年	4	3	2	1	-	+
			そう思う	ややそう 思う	あまり 思わない	思わない		
1	学校の雰囲気が良い	1年	35.0%	50.0%	12.5%	2.5%	15.0%	85.0%
		2年	43.8%	45.5%	8.0%	2.7%	10.7%	89.3%
		3年	37.1%	47.6%	12.1%	3.2%	15.3%	84.7%
		全学年	38.9%	47.5%	10.8%	2.8%	13.6%	86.4%
		保護者	53.0%	43.5%	3.0%	0.4%	3.5%	96.5%
2	入学してよかった	1年	40.0%	35.0%	18.8%	6.3%	25.0%	75.0%
		2年	48.2%	33.9%	16.1%	1.8%	17.9%	82.1%
		3年	41.1%	42.7%	11.3%	4.8%	16.1%	83.9%
		全学年	43.4%	37.7%	14.9%	4.1%	19.0%	81.0%
		保護者	50.6%	42.1%	6.9%	0.4%	7.3%	92.7%
3	自分のクラスは楽しい	1年	46.3%	47.5%	2.5%	3.8%	6.3%	93.8%
		2年	47.3%	33.0%	13.4%	6.3%	19.6%	80.4%
		3年	44.4%	42.7%	8.9%	4.0%	12.9%	87.1%
		全学年	45.9%	40.5%	8.9%	4.7%	13.6%	86.4%
		保護者	44.6%	38.5%	13.9%	3.0%	16.9%	83.1%
4	先生は教育熱心である	1年	26.9%	53.8%	15.4%	3.8%	19.2%	80.8%
		2年	41.1%	43.8%	14.3%	0.9%	15.2%	84.8%
		3年	32.8%	43.2%	17.6%	6.4%	24.0%	76.0%
		全学年	34.3%	46.0%	15.9%	3.8%	19.7%	80.3%
		保護者	32.9%	51.8%	14.0%	1.3%	15.4%	84.6%
5	授業が分かりやすい	1年	23.8%	52.5%	21.3%	2.5%	23.8%	76.3%
		2年	32.4%	47.7%	18.0%	1.8%	19.8%	80.2%
		3年	22.6%	53.2%	19.4%	4.8%	24.2%	75.8%
		全学年	26.3%	51.1%	19.4%	3.2%	22.5%	77.5%
		保護者	18.3%	52.4%	26.6%	2.6%	29.3%	70.7%
6	多様な資格が取れる	1年	26.0%	36.4%	27.3%	10.4%	37.7%	62.3%
		2年	32.1%	39.3%	25.0%	3.6%	28.6%	71.4%
		3年	20.8%	40.0%	28.8%	10.4%	39.2%	60.8%
		全学年	26.1%	38.9%	27.1%	8.0%	35.0%	65.0%
		保護者	20.8%	38.9%	31.9%	8.4%	40.3%	59.7%
7	授業に意欲的に取り組んでいる	1年	27.5%	60.0%	8.8%	3.8%	12.5%	87.5%
		2年	30.4%	46.4%	21.4%	1.8%	23.2%	76.8%
		3年	24.2%	53.2%	18.5%	4.0%	22.6%	77.4%
		全学年	27.2%	52.5%	17.1%	3.2%	20.3%	79.7%
		保護者	28.6%	51.5%	16.9%	3.0%	19.9%	80.1%
8	先生は悩みなどを親身になって聞いてくれる	1年	26.3%	46.3%	18.8%	8.8%	27.5%	72.5%
		2年	46.8%	40.5%	10.8%	1.8%	12.6%	87.4%
		3年	35.2%	44.0%	13.6%	7.2%	20.8%	79.2%
		全学年	37.0%	43.4%	13.9%	5.7%	19.6%	80.4%
		保護者	38.0%	44.5%	16.2%	1.3%	17.5%	82.5%
9	9. 学校の規程は妥当である	1年	32.5%	47.5%	15.0%	5.0%	20.0%	80.0%
		2年	34.8%	40.2%	20.5%	4.5%	25.0%	75.0%
		3年	27.4%	41.1%	23.4%	8.1%	31.5%	68.5%
		全学年	31.3%	42.4%	20.3%	6.0%	26.3%	73.7%
		保護者	42.5%	45.1%	10.7%	1.7%	12.4%	87.6%
10	学校の生活指導について納得できる	1年	35.0%	41.3%	16.3%	7.5%	23.8%	76.3%
		2年	32.1%	41.1%	21.4%	5.4%	26.8%	73.2%
		3年	29.6%	39.2%	22.4%	8.8%	31.2%	68.8%
		全学年	31.9%	40.4%	20.5%	7.3%	27.8%	72.2%
		保護者	41.6%	44.6%	12.6%	1.3%	13.9%	86.1%
11	学校の規則を守っている	1年	56.3%	33.8%	6.3%	3.8%	10.0%	90.0%
		2年	57.1%	36.6%	4.5%	1.8%	6.3%	93.8%
		3年	55.2%	36.8%	5.6%	2.4%	8.0%	92.0%
		全学年	56.2%	36.0%	5.4%	2.5%	7.9%	92.1%
		保護者	63.4%	31.5%	4.3%	0.9%	5.2%	94.8%
12	進路に必要な情報は適切に提供されている	1年	37.2%	48.7%	11.5%	2.6%	14.1%	85.9%
		2年	38.4%	49.1%	11.6%	0.9%	12.5%	87.5%
		3年	36.0%	50.4%	8.8%	4.8%	13.6%	86.4%
		全学年	37.1%	49.5%	10.5%	2.9%	13.3%	86.7%
		保護者	35.7%	48.3%	14.8%	1.3%	16.1%	83.9%
13	授業・模擬試験が進路に対応している	1年	29.1%	50.6%	16.5%	3.8%	20.3%	79.7%
		2年	34.8%	50.9%	13.4%	0.9%	14.3%	85.7%
		3年	23.4%	54.0%	17.7%	4.8%	22.6%	77.4%
		全学年	28.9%	52.1%	15.9%	3.2%	19.0%	81.0%
		保護者	22.2%	54.7%	20.4%	2.7%	23.1%	76.9%
14	学校行事は楽しく充実している	1年	46.3%	43.8%	8.8%	1.3%	10.0%	90.0%
		2年	42.9%	41.1%	14.3%	1.8%	16.1%	83.9%
		3年	33.9%	41.9%	17.7%	6.5%	24.2%	75.8%
		全学年	40.2%	42.1%	14.2%	3.5%	17.7%	82.3%
		保護者	42.7%	43.5%	11.6%	2.2%	13.8%	86.2%
15	部活動は活発で充実している	1年	38.0%	40.5%	19.0%	2.5%	21.5%	78.5%
		2年	43.2%	36.9%	11.7%	8.1%	19.8%	80.2%
		3年	28.2%	42.7%	16.9%	12.1%	29.0%	71.0%
		全学年	36.0%	40.1%	15.6%	8.3%	23.9%	76.1%
		保護者	36.5%	39.7%	19.2%	4.6%	23.7%	76.3%
16	校内の施設・設備はよく整備されている	1年	30.0%	58.8%	8.8%	2.5%	11.3%	88.8%
		2年	42.0%	46.4%	10.7%	0.9%	11.6%	88.4%
		3年	35.2%	44.8%	12.8%	7.2%	20.0%	80.0%
		全学年	36.3%	48.9%	11.0%	3.8%	14.8%	85.2%
		保護者	51.7%	41.3%	5.7%	1.3%	7.0%	93.0%
17	誰に対してもあいさつができる	1年	51.3%	32.5%	11.3%	5.0%	16.3%	83.8%
		2年	41.1%	42.9%	13.4%	2.7%	16.1%	83.9%
		3年	35.5%	47.6%	13.7%	3.2%	16.9%	83.1%
		全学年	41.5%	42.1%	13.0%	3.5%	16.5%	83.5%
		保護者	34.8%	49.6%	13.0%	2.6%	15.7%	84.3%

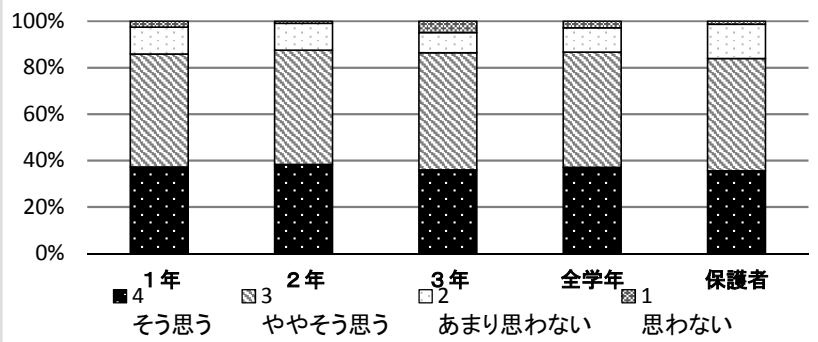
平成29年度 学校評価アンケート 比較グラフ



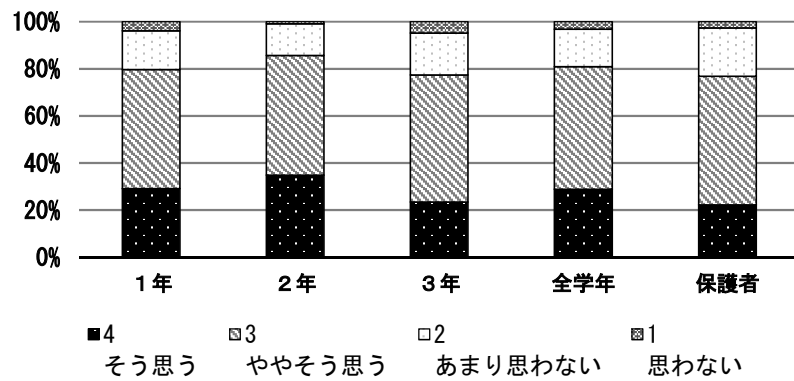
11. 学校の規則を守っている
11. お子さんは学校の規則を守っている



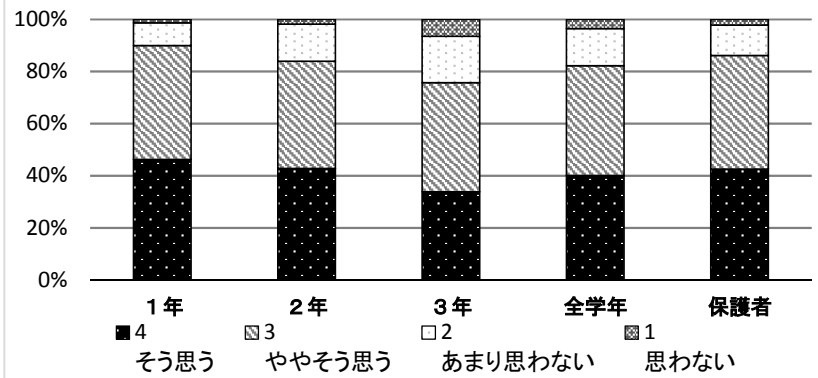
12. 進路に必要な情報は適切に提供されている



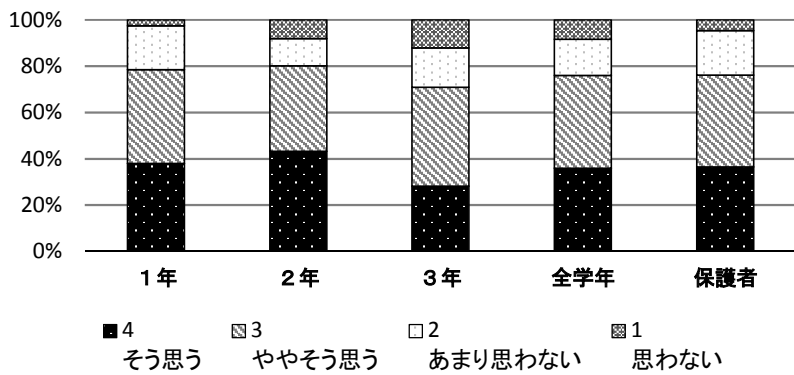
13. 授業・模擬試験が進路に対応している



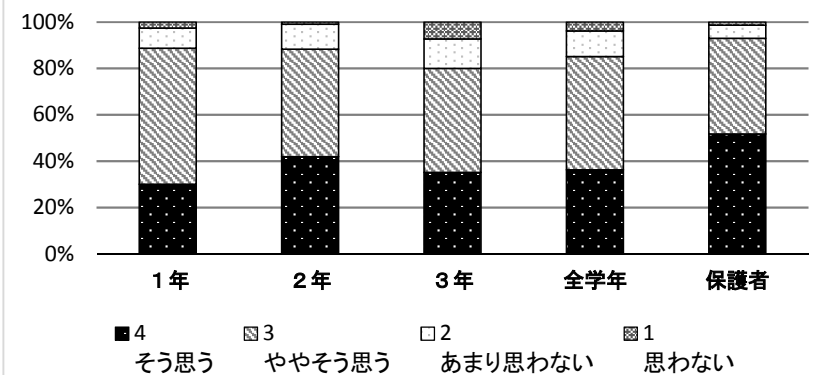
14. 学校行事は楽しく充実している



15. 部活動は活発で充実している



16. 校内の施設・設備はよく整備されている



17. 誰に対してもあいさつができる
17. 挨拶のあふれる学校である

